

〔 震災で被害にあわれた方々に思いを寄せて 〕

古橋 政子
(大阪学院大学准教授)

(独唱：アメージンググレイス)

古橋：ありがとうございました。皆さんの拍手を、私だけではなくて、もしできましたら、ここにはおりませんけれども、私がニュージーランドとニューギニアの違いもわからずにニュージーランドに初めて行った時に、すぐに娘のように私を受け入れ、自分達の部族の町に連れていってくれて、このアメージンググレイス (E Te Atua) をマオリ語で教えてくれました二人のマオリ女性、故アンティ・ディニー・ジャラム (Aunty Dinny Jaram)、そして今深刻な病床についております、アンティ・パエ・ルハ (Aunty Pae Ruha) の二人に是非拍手をいただきたいと思います。(拍手)

ありがとうございます。彼らのお陰で長い道のりをここまで来ることが出来ました。そしてもう一人、ここにおりませんけれども、ピアノ伴奏を奈良で録音してくださった、素晴らしいジャズピアニストでアカンピスト (伴奏者)、香川明德氏にも是非！(拍手)

ありがとうございます。彼らのお陰で、今日歌わせていただくことが出来ました。山岡先生、そして本日、後ろで助けてくださった多くのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。では、再びこの方々の支えを得まして、最後にニュージーランド・東北大震災犠牲者の方々のご冥福と、現地の速やかな復興を祈って、皆様とご一緒にこの歌を歌わせていただきたいと思います。どうぞご唱和ください。

(斉唱：アメージンググレイス)

古橋：ありがとうございました。(拍手)

*総合司会：

古橋先生、どうもありがとうございました。

〔閉会の辞〕

遠藤 哲也

(元駐ニュージーランド大使／原子力安全研究協会研究参与)

***総合司会：**

それではこの会の最後に閉会の辞を遠藤哲也先生、お願いいたします。

それでは閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げたいと思います。本日は非常に、半日でございましたけれども、非常に実質的な会議であったと思います。まず最初にケネディ大使からの基調演説、それからお三方の報告、それからコメントと、私自身も非常に得るところが多かったと思いますし、それから最後に古橋先生の非常に感動的な歌唱、本当にどうもありがとうございました。

震災からニュージーランドのクライストチャーチの震災、それから東北の震災からちょうど8カ月ないし9カ月たっても、我々は早いと思うんですけども、しかしながらまだ震災の被害を受けている、被っている人たちにとってみれば8カ月、9カ月は長かった、長い日々じゃなかったかと思うんです。いずれにしましても、本日の会を非常によかったと思いますし、今、ますますニュージーランド、日本におけるニュージーランド研究が一層盛んになること、それから、ひいては日本とニュージーランドの関係が一層発展することを祈念しつつ、これをもって本日の閉会とさせていただきます。どうもご参加ありがとうございました。(拍手)

***総合司会：**

先生どうもありがとうございました。長い時間皆様ありがとうございました。これをもちましてこの報告会を終了させていただきます。